

波紋

1994年3月第105号



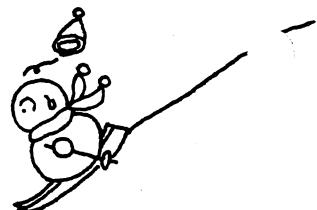
中高ビ組合一泊スキー(2月5~6日)

赤倉温泉スキー場

参加人数44名で

森松より16名

参加しました。



天気 晴れ、風なし、雪質良し。。。

スキーをするにはもってこいの最高のスキー日和でした。

また、スキーの後の温泉は格別、極楽気分。

是非、また来年、スキーツアーで

皆さん、会いましょう！

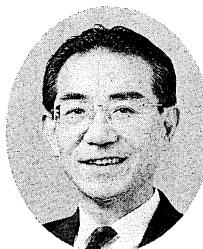
松井宣和



皆さん、お変わりありませんか？世間一般的には、こう挨拶するのが常識ですが、モーリンでは、「あなた、最近変わっていますか？」が普通の挨拶になっています。仕事上は勿論変化していますが、日常生活の上でも変わって行かない、本当に自分自身が変わった事にならないと思います。気持ちや考え方方が変われば、自然に行動や発言、態度が変わるものです。

「世界中で一番未開拓地はどこか、というと帽子の下（頭の中）だ」と云われています。過去のシガラミ、コダワリを捨て去り、素直な気持ちで物事に対処して行きたいのです。

3月4日より、カナダ慰安旅行に出発します。広いカナダの国を見学し、日本との違い、名古屋との差を見て下さい。外国人の考え方、価値観の違いはどうしてなのか？大変興味の深い事です。日本を離れ、海外から自分の国や町、家庭、会社を見るのも旅行の楽しみの一つです。帰国後の皆さんの変身を大変楽しみに期待しています。（今、外は雪が降り続々、名古屋は今年2度目の大雪？になります。カナダの雪はどんな雪でしょうか？）



「おかわりありますか？」

トシ君の一方通行 「名古屋」



名古屋の名産といえば、うどんをわざわざ平らにした「きしめん」、うどんをわざわざ固くした「煮込み」、わざわざカツに味噌をかけた「味噌カツ」、わざわざ比重を重くした「ういろ」等々あります。

2月9日の中日新聞によりますと、千人のサラリーマン調査で、『名古屋』が嫌いな都市ワースト1であります。商いがしにくい都市1位、転勤したくない都市で2位、総合ワースト1位ということでありまして、不愉快このうえありません。

私は個人的に、名古屋は魚が日本一不味い点を除けば大変住みやすい街であると思います。肝心の商いではありますが、他社は知りませんが、我がモリマツは本音で商いをしておりまして、モリマツとお付き合いして頂けたら絶対得をすると確信しております。骨折り損にはいたしません。お客様・仕入れ先様に骨を折つて頂く訳にはまいりませんので、木村自ら骨を進んで折る所存であります。どうぞ名古屋のモリマツを、今後とも宜しくお願い申し上げます。

木村英利

森松クインテット 「力エルでよろしく」



「このままじゃいかん」ということで、東京に出ることになりましたが、なにせ田舎者で世間知らず。東京の風もすごく冷たく感じております。

が、しかし、仕入先様の暖かい御好意、また再会で、夜は楽しく過ごさせていただいております。また、色々勉強もさせていただけております。「何の勉強だ」と信じてもらえないと思いますので、早く数字を作らなければ、と今はプレッシャーを感じています。

若い営業マンも、東京・大阪へと飛びまわり、数字もできつつあります。私も初心にかえり、色々なことにこれから取り組んでいこうと思っています。

初心・原点に返エル。視点・立場を換エル。手順・方法を改エル。素材・部品を代エル。組み合わせを替エル。ピンチをチャンスに変エル。過去と他人は変えられない。変えられるのは、自分と未来だけである。頑張ろう。

山口隆弘

喜怒哀樂 「田舎が変わつてゆく」



私が高校まで生まれ育った（故郷）山形県米沢市大字南原字笛野は、東・南・西の三方が山に囲まれた、山形県では一番南に位置する上杉十五万石の城下町。

今年の正月に、3年振りに片道9時間かけ、車で帰ったのですが、田舎の少なくなったもの、多くなったものを書き出してみました。

『少なくなったもの』

・二メートルも積つたことのある雪

・裏の林まで来ていた『うさぎ』

・それに熊、山鳥、町内の子供

・正月に家の前を通る人

『多くなったもの』

・車で山道を走ると、手も上げずに道を横切る猿、イタチ

・捕つてはいけないかも鹿

・町中でしか見なかつた信号……

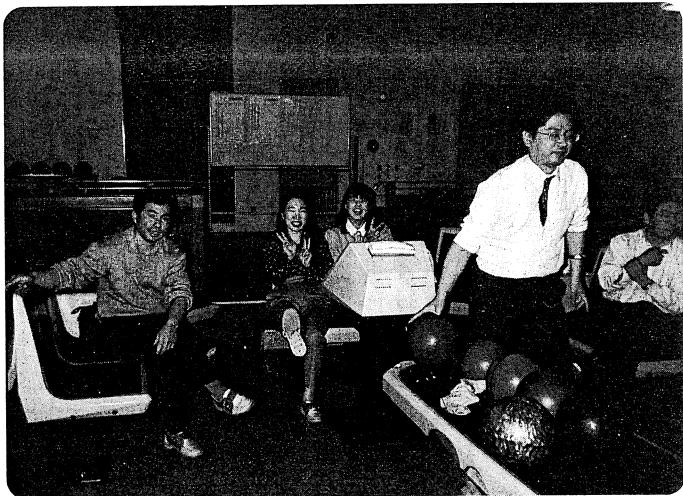
自分の事で、目立つて多くなってきたのが白髪、かなり少なくなってきたのが髪の毛（森

松に入社した8年前には七・三に分けてたにな）、変わつてないのが自分の“性格”で、変わつてないな！と思いつからも変わつてほしくないのが、『おふくろの味』

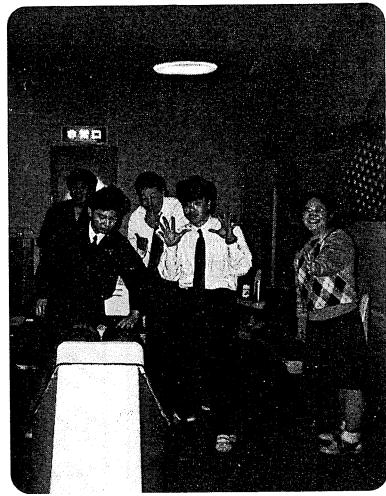
それを食べに、来年も田舎へ！

下垣紀一

モーリン会ボーリング大会

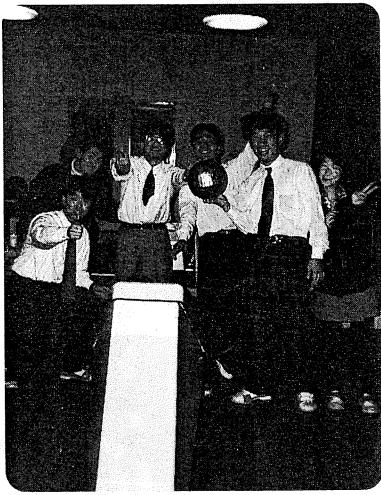


1月29日(土)モーリン会主催のボーリング大会がロイヤルボール名古屋で行われました。社員及びパートさんが37名参加し、日頃のうつぶんをはらすかの様に大変盛り上がりました。女性に大変有利なハンディ(男性は、1ゲームで150点以上獲得すると30点減点、ストライクの数が偶数の場合30点減点 etc...)で実力か運か(!?)



1位	山内さん
2位	久保田さん
3位	谷口さん
7位	加藤(美)さん
10位	西脇主任
20位	竹田さん
30位	西田課長

ブービー賞 谷澤さん……という結果でした。
参加者の皆さんお疲れ様でした。



スキーを始めて3シーズン目。しかし、少しも上手くならない。逆に思い切りが悪くなってしまっている。なのに上手くなりたいと思つて中高ビ若手会ツアーフ前に板を替えた。赤倉のスキー場で2時間程滑つて自度が付いたつもりだった。しかし、コブでコケて板を壊し、その後は貸しスキーで滑る事になってしまった。帰ってきて修理に出し、一週間で直ってきた。嬉しくて翌週スキーへ行つた。丁度その日は名古屋でも大雪が降り、スキー場も吹雪いていた。まず、板に慣れてアレとアレを練習する。そんな自分の目標はもろくも崩れた。「アレッ、おかしい曲がれない。恐い。雪が重たい。前が見えない。」と無茶苦茶だつた。一緒に行つた人達は深雪を平気で滑つて行くのに、自分はもうパニックで初めてスキーをした日より下手くそだった。ああしろとか、これが出来てないとアドバイスされても、こんな精神状態だから当初の目標の板に慣れるという事とアドバイスされた事の三分之一位してみようと思つていた事は見事に何も出来なかつた。もう、情けなくて悔しくて泣けるものなら泣きたかつた。帰りは事故で通行止めになつたりして、渋滞で10時間位かかつた。その間、目をつむりながら考えた。とにかく基礎からやらなきや駄目だ。何かの時に対処できない。調子こいて滑つてもそれだけで終つてしまう。スキースクールに入つて板にちゃんと慣れて、チエーンを買って頑張る。決めた。とにかく、やつぱり、それでも、SKIだ!

大木 隆好

暮らしのエッセイ 「スキー」

3月の社内行事



左より 栗脇さん、横山次長

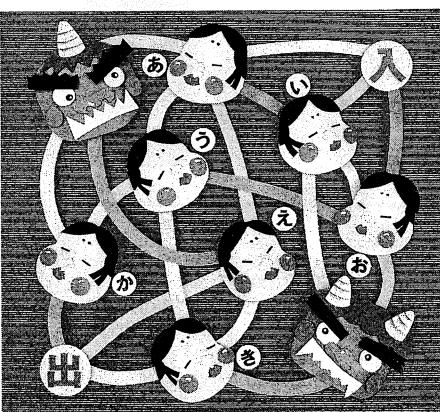
彼は現在、有松よりバス、又は自転車で通勤していますが、会社に7時から7時10分には来て原反の準備等をしてくれます。聞くところによると、家を出る時間は6時30分だそうです。冬の時間でしたら、まだ夜が明けてないでしょう。年だから朝が早いとはいえ(44才)、なかなか厳しい時間です。彼は言いました。「自分がやらなければ、誰がやる。」その気持ちで今後とも頑張つて下さい。期待しています。

栗脇 今月のニコチャンは、一さんに決定しました。

一コチヤン投書箱

今回の問題は、迷路。

ペーパークラフト パズル



“鬼”のところへは行かないようにして、かつ、“お多福”を全部、通過して、ゴールまでたどりついてください。“お多福”的ところをもれなく通過する。というのがミソですよ。

3月末日締切りですので、どんどん御応募して下さい。お待ちしております。

編集発行者
株式会社

発行責任者

高 橋 武 夫

平成6年3月1日
第105号

学生時代の友人達に話したところ、「この不景気なのにすごいね。」と言われました。私自身、その通りだと思っていますし、本当に有難いことだと、感謝しています。

今までに一度も行ったことのない、見知らぬ異国の地。日本語の通じない不安もありますが、いろいろな体験をして、外国の文化を学べたらいいなと思います。社員の半数がいない期間が約二週間続き、仕入先様、得意先様にもいろいろ御迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひ致します。

もうすぐ社員旅行です。

編集後記